

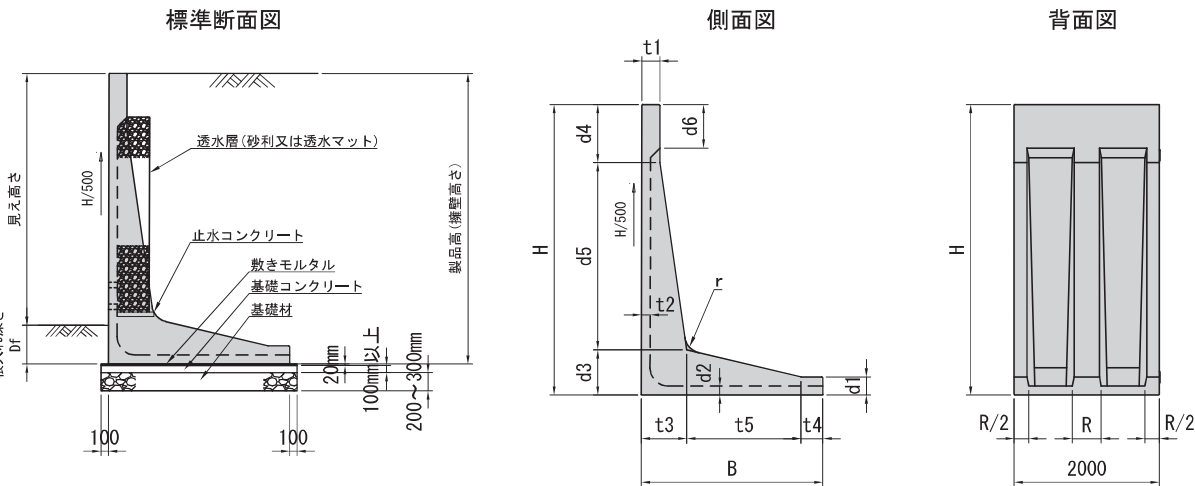
ハイ・タッチウォール(耐震型)kh=0.25

- ・宅地造成用擁壁で高さ5mまでの一体構造で大臣認定を受けたプレキャストL型擁壁です。
- ・HTタイプとHWタイプの2タイプがあります。
- ・設計水平震度は、大地震kh=0.25用で対応しています。



国都防第17号
令和2年2月21日

寸法表



●HTタイプ $\phi \geq 30^\circ$ 比較的良好地盤 裏込め土の内部摩擦角 $\phi \geq 30^\circ$ *3 設計水平震度:HTⅢ大地震 kh=0.25

呼び名※1,※2	形状寸法 (mm)															参考質量 (kg)	必要地耐力 (kN/m ²)	
	H	B	R	t1	t2	t3	t4	t5	d1	d2	d3	d4	d5	d6	r		q=10kN/m ²	q=15kN/m ²
HT3250 兼	3,250	2,250	340	250	120	560	300	1,390	250	120	560	550	2,140	350	250	5,870	150	160
HT3500	3,500	2,250	340	250	120	560	300	1,390	250	120	560	800	2,140	600	250	6,170	170	185
HT3750 兼	3,750	2,500	350	250	120	625	300	1,575	250	125	625	550	2,575	350	250	7,220	170	185
HT4000	4,000	2,500	350	250	120	625	300	1,575	250	125	625	800	2,575	600	250	7,520	190	205
HT4250 兼	4,250	2,800	390	250	130	670	350	1,780	300	130	670	750	2,830	350	300	9,080	190	205
HT4500	4,500	2,800	390	250	130	670	350	1,780	300	130	670	1,000	2,830	600	300	9,380	210	230
HT4750 兼	4,750	3,000	390	250	130	735	350	1,915	300	130	735	750	3,265	350	300	10,610	220	235
HT5000	5,000	3,000	390	250	130	735	350	1,915	300	130	735	1,000	3,265	600	300	10,910	240	255

※1 呼び名の「兼」は直近上位の擁壁の型枠を兼用する場合を示します。
※2 上記の呼び名においてHTⅢ大地震は、HTⅠ中地震、HTⅡ大地震と形状・配筋が同一のため、呼び名を「HT」に統一しています。
※3 基礎地盤の内部摩擦角が $\phi_B \geq 30^\circ$ 以上が必要です。

●HWタイプ $\phi \geq 25^\circ$ 一般的な地盤 裏込め土の内部摩擦角 $\phi \geq 25^\circ$ *3 設計水平震度:HWⅢ大地震 kh=0.25

呼び名※1	形状寸法 (mm)															参考質量 (kg)	必要地耐力 (kN/m ²)	
	H	B	R	t1	t2	t3	t4	t5	d1	d2	d3	d4	d5	d6	r		裏込め土の土質 $\gamma_s=16\sim19\text{kN/m}^3$ 積載荷重(管荷重含む) $q=10\text{kN/m}^2$ 基礎地盤の土質 $\phi_B \geq 25^\circ$ 基礎地盤の土質 $\phi_B \geq 30^\circ$	
HWⅢ3250 兼	3,250	2,600	340	250	120	560	650	1,390	250	120	560	550	2,140	350	250	6,150	145	
HWⅢ3500	3,500	2,600	340	250	120	560	650	1,390	250	120	560	800	2,140	600	250	6,450	160	
HWⅢ3750 兼	3,750	2,900	350	250	120	625	700	1,575	250	125	625	550	2,575	350	250	7,550	165	
HWⅢ4000	4,000	2,900	350	250	120	625	700	1,575	250	125	625	800	2,575	600	250	7,850	185	
HWⅢ4250※2	4,250	3,000	390	250	130	670	550	1,780	300	130	670	750	2,830	350	300	9,270	—	195
HWⅢ4500	4,500	3,000	390	250	130	670	550	1,780	300	130	670	1,000	2,830	600	300	9,570	—	220
HWⅢ4750 兼	4,750	3,000	390	250	130	735	350	1,915	300	130	735	750	3,265	350	300	10,610	—	240
HWⅢ5000	5,000	3,000	390	250	130	735	350	1,915	300	130	735	1,000	3,265	600	300	10,910	—	270

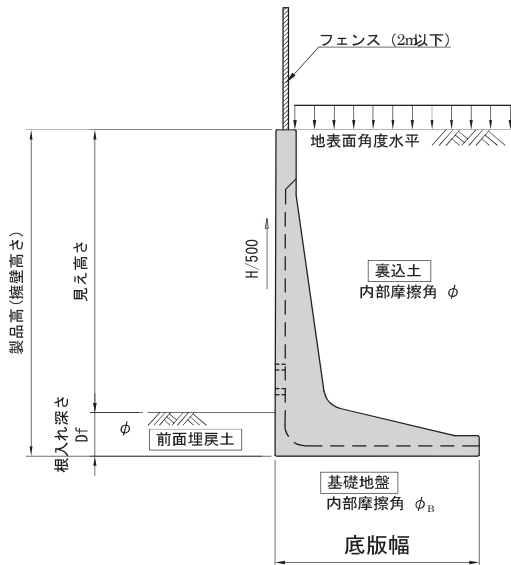
※1 呼び名の「兼」は直近上位の擁壁の型枠を兼用する場合を示します。 ※2 呼び名HWⅢ4250は呼び名HWⅢ4500の規格の頭詰めになります。
※3 基礎地盤の内部摩擦角が ϕ_B は以下のとおりです。製品高さ3,000を超え4,000以下 $\phi_B \geq 25^\circ$ 以上、製品高さ4,000を超え5,000以下 $\phi_B \geq 30^\circ$ 以上が必要です。ご注意ください。
※上記以外の寸法についてはお問い合わせください。

設計条件

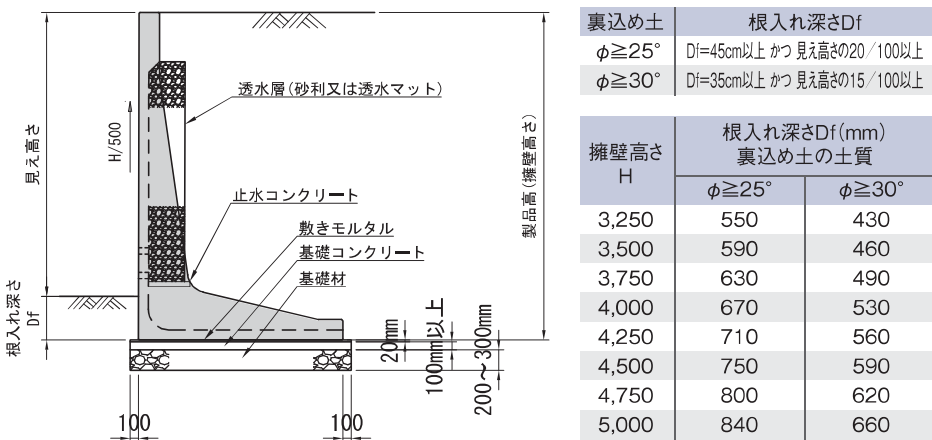
- HTタイプ
 - 地表面の勾配…LEVEL
 - 積載荷重(積雪荷重)… $Q=10\text{kN/m}^2$ 及び 15kN/m^2
 - 裏込め土の内部摩擦角… $\phi=30^\circ$
 - 基礎地盤の内部摩擦角… $\phi_B=30^\circ$
 - 土の単位体積重量… $\gamma_s=16\sim19\text{kN/m}^3$
 - 滑動摩擦係数… $\mu=\tan\phi_B$ ($\mu \leq 0.60$)
 - 土圧計算式…(常時)クーロン式、(地震時)物部・岡部公式

- HWタイプ
 - 地表面の勾配…LEVEL
 - 積載荷重(積雪荷重)… $Q=10\text{kN/m}^2$
 - 裏込め土の内部摩擦角… $\phi=25^\circ$
 - 基礎地盤の内部摩擦角… $\phi_B=25^\circ, 30^\circ$
 - 土の単位体積重量… $\gamma_s=16\sim19\text{kN/m}^3$
 - 滑動摩擦係数… $\mu=\tan\phi_B$ ($\mu \leq 0.60$)
 - 土圧計算式…(常時)クーロン式、(地震時)物部・岡部公式

※上記以外の設計条件についても別途検討いたします。



標準施工図



- ・専用の吊り具で施工し、製品のズレを抑えるために製品同士を連結プレートとボルトで連結します。
- ・擁壁の根入れの深さは、宅地造成等規制法施行令第8条4項に則り、擁壁を岩盤に接着して設置する場合を除き左図の通りとしてください。

施工歩掛り 10m当り

呼び名 HT	3250 兼	3500	3750 兼	4000	4250 兼	4500	4750 兼	5000
擁壁高さ:H(m)	3.25	3.50	3.75	4.00	4.25	4.50	4.75	5.00
日当り施工量(m)	30				24			
ハイ・タッチウォール(個)	5							
土木一般世話役(人)	0.33	0.42	0.42	0.42	0.42	0.42	0.42	0.42
ブロック工(人)	0.33	0.42	0.42	0.42	0.42	0.42	0.42	0.42
普通作業員(人)	1.00	1.25	1.25	1.25	1.25	1.25	1.25	1.25
普通作業員(人)	1.00	1.25	1.25	1.25	1.25	1.25	1.25	1.25
ラフテレーンクレーン賃料(日)	0.33	0.42	0.42	0.42	0.42	0.42	0.42	0.42
ラフテレーンクレーンの規格		25tf吊り			35tf吊り			
雑工種	基礎砕石(%)	60			66			
	基礎コンクリート(%)	74			108			
諸雑費(%)		20	21	21	21	21	21	21

※1 本歩掛は、「国土交通省土木工事概算基準 平成24年度」を参考とし、ハイ・タッチウォール標準施工に適用されます。
※2 現場条件により上表により難い場合は、別途考慮して下さい。
※3 本歩掛は、運搬距離10m程度までの個運搬を含みますが、床付け工、埋戻し、残土処理は含みません。
※4 雑工種は、労務費、賃料及び機械運転経費の合計に上表の率を乗じた金額を上限として計上します。
【基礎砕石】＝敷設、転圧労務、材料搬入、締固め機械運転経費、砕石等材料費。標準敷均し厚は、20cm以下標準とします。
【基礎コンクリート】＝打設、養生、型枠製作・設置・撤去労務、シュート・ホッパー・パイプ・プラータ損料、コンクリート、養生材、型枠材料費。
※5 ラフテレーンクレーンは、設置場所とクレーンまでの作業半径等現場条件により、使用する大きさが異なる場合があります。